

京極町



第30回 名水の里きょうごくしゃっこいまつり



親子都市の香川県丸亀市から梶市長(左から2番目)、内田議長(右から2番目)、観光親善大使が来町

2
ページ

6月定例会の主な審議内容
令和元年度 **補正予算可決**ほか

6
ページ

ズバリ聞く! 京極町のいま・これから
一般質問

12
ページ

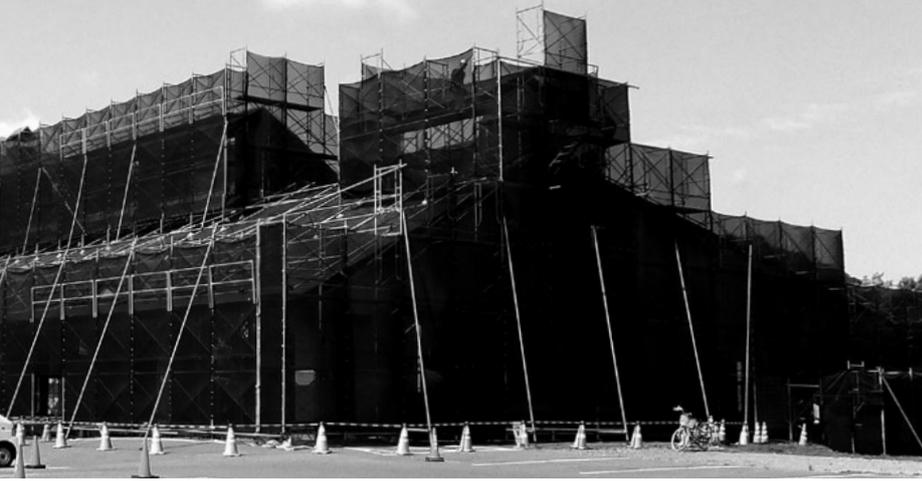
議会活動日誌

議会に関する情報は、町のホームページでも公開しています。



京極町HP





令和元年
第2回定例会
6/14-6/18

令和元年第2回定例会は6月14日に招集され、会期を6日間と決めたあと、諸般の報告、行政報告、監査報告、一般質問、報告2件、同意3件、条例改正2件、補正予算2件、その他議案6件、意見案1件を審議し、18日閉会しました。

報
告

情報公開条例及び個人情報保護条例の運用状況

(報告済)

- ・情報公開条例の運用状況
平成30年度
開示請求 1件
処理状況 開示……………1件
非開示……………なし
公文書不存在…なし
- ・個人情報保護条例の運用状況
平成30年度
開示請求 なし
- ・不服申立 なし

平成30年度
京極町一般会計繰越明許
費繰越計算書

(報告済)



内容 年度内の執行が困難であるため、平成30年度の事業を翌年度に繰り越すものです。

【農業費】

・道営農業農村整備事業繰越額
3546万2千円

同
意

副町長の選任

(同意)

内容 令和元年6月26日で任期満了により、次の方が選任されました。

小林 哲也 氏



〈任期〉令和元年6月27日から
令和5年6月26日まで



京極温泉屋根改修工事など 7847万1千円を追加

補正予算を可決

監査委員の選任 (同意)

内容 令和元年6月30日で前任者が辞職したことに伴い、次の方が選任されました。

丁名塚 幸美氏



〈任期〉 令和元年7月1日から
令和5年6月30日まで

命 教育委員会教育委員の任命 (同意)

内容 平成31年3月31日で前任者が辞職したことに伴い、次の方が任命されました。

小山 恵氏

〈任期〉 令和元年7月1日から
令和4年9月30日まで

条例改正

京極町税条例の一部改正 (原案可決)

内容 軽自動車税に新設された「環境性能割」に関する減免処理については、当面の間北海道が代行することから、その業務を円滑に行えるよう基準を自動車税にあわせるよう改めたものです。

京極町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (原案可決)

内容 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律が改正されたことに伴い、本町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例においても改正するものです。
主な改正は、選挙に関する本町非常勤特別職の報酬について、投票所の投票管理者等の日額をそれ

それぞれ100円〜200円増額するものです。

補正予算

令和元年度

京極町一般会計 (第2回) (原案可決)

内容 予算の総額に、7847万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を39億5968万円とするものです。

歳入の内容

・地方交付税

4041万6千円追加

〔国庫補助金〕

・プレミアム付商品券事務費補助金 270万1千円

・プレミアム付商品券事業費補助金 280万円

〔雑入〕

・市町村振興協会助成金

135万4千円追加

【町債】

- ・京極温泉設備更新事業
3120万円追加

歳出の内容

【総務管理費】

- ・京極温泉屋根改修工事ほか
3818万4千円

【商工費】

- ・時間外勤務手当 44万7千円
- ・消耗品費 35万3千円追加
- ・印刷製本費 20万円
- ・通信運搬費 4万6千円
- ・プレミアム付商品券事業事務委託料ほか 445万5千円
- ・消費税率の10%への引き上げに伴い、家計の負担緩和や地域の消費下支えのため、実施する事業です。購入対象者は、住民税非課税者及び3歳未満の子どもがいる世帯主です。



- ・汎用テント購入費
135万4千円追加

【土木管理費】

- ・水道特別会計繰出金
1200万円追加

【道路橋りょう費】

- ・松川10号線法面補修工事ほか
1866万7千円

【河川費】

- ・唐沢川河床整備工事
276万5千円

令和元年度

京極町水道特別会計

(第1回) (原案可決)

内容

予算の総額に、3600万円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億5976万5千円とするものです。

歳入の内容

【一般会計繰入金】

- ・一般会計繰入金
1200万円追加

【町債】

- ・春日地区増圧ポンプ場設置工事
2400万円

歳出の内容

【維持管理費】

- ・春日地区増圧ポンプ場設置工事ほか
3600万円

請負契約の締結

公営住宅建設工事(原案可決)

【契約の目的】 望羊団地(その1)建設工事

【契約の金額】 2億2000万円

【契約の相手】 横関・古屋・水上経常建設共同企業体

【契約の方法】 指名競争入札

1棟8戸を建設。工期は令和2年2月28日です。



財産の購入

(原案可決)

【購入財産】 ローター除雪車

【購入金額】 4724万5千円

【購入先】 ナラサキ産業株式会社
北海道支社

【購入方法】 指名競争入札

渡邊議員から反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。

規約の変更

北海道市町村総合事務組合規約の変更

(原案可決)

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

(原案可決)

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

(原案可決)

内容

構成団体の脱退に伴い、規約を変更するものです。

その他

京極町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

(原案可決)

内容

今年度、過疎対策事業債の申請を予定している次の事業を追加するものです。

- ・火葬場改修事業
- ・デマンドタクシー助成事業
- ・外国人指導助手業務委託事業

意見案

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

(原案可決)

提出者 小柳光義議員

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は、我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月14日

北海道虻田郡京極町議会
議長 船場英雄

【提出先】 内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣

一 質 問

令和の時代にふさわしい まちづくりとは

町長

全ての町民の力を結集して取り組んでいけるよう、精いっぱい努めます

問

町長は出馬表明の際、「よりよい京極を引き継ぎたい」と述べており、当選の際には、「豊かな自然を大事にしながら、心豊かに安心して暮らし続けられる町を築きたい。町民の声をよく聞き、協力を得つつ、京極に大きな花を咲かせられるよう頑張りたい」と述べられました。初登庁の際は、「失敗を恐れずに果敢に挑戦して、さらには選挙で説明した政策を一つ一つ着実に実行する」と訓辞しました。広報きょうごくでは、「ふきだし湧水や羊蹄山の豊かな自然を大切にしながら、次の世代に引き継いでいくため、町民の皆様とともに令和の時代にふさわしいまちづくりに全力で取り組んでまい

ります」と述べられています。

私は、これまでの町長の発言について相当の意気込みが感じられますし、町を思う気持ちが十分に伝わってきています。令和の時代にふさわしいまちづくりのための、具体的な考えをお聞きます。

答

梅田町長 町民の皆さんが自信と誇りを持って、心豊かに安全、安心に暮らし続けられ、さまざまな文化、スポーツが盛んになり、町の将来を担う人材を町民みんなで育てなければと思っ

ています。そのために町民が一体となれるイベントをつくっていきたいと考えているところです。こうしたまちづくりの拠点は役場ですので、職員の一層のスキル

アップを図り、広い視野を持つて新しい取り組みにも積極的に挑戦する気概を持つてほしいと思っています。まちづくりは一人の力ではできません。全ての町民の力を結集して取り組んでいけるよう、精いっぱい努めていきます。

ふきだし公園の再開発が進んでいない現状について

問

平成21年1月に、第1回ふきだし再開発検討委員会が開催されました。約1年にわたり議論を重ね、平成22年の当初予算では300万円、平成26年の当初予算では700万円が計上されましたが、現在まで計画は全く進ん



菊地 篤志 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

ふきだし公園



でいません。見解を伺います。

答

梅田町長 ふきだし公園に

ついては、平成26年度に整備基本計画を策定して以降、Wi-Fi（ワイファイ）の設置やつり橋改修、外灯のLED化などに取り組んできました。今は、基本計画に基づ

く年次計画の策定に向けて協議を行っており、年度内にまとまり次第町民の皆さんにお示しをするとともに、議会と協議していきいたいと考えています。

新たなキャッチフレーズの町づくりは

の町づくりは

問

名水の町京極だけでなく、大胆

に発想を転換すべきではないでしょうか。私たちが若かった時代には石原裕次郎さんの「恋の町札幌」が流行しました。例えば「恋の町京極」というまちづくりを目指すなど、新しい発想が、令和の時代にふさわしいまちづくりになるのではないのでしょうか。

答

梅田町長 心に響く新しいキャッチ

フレーズを考えること自体が町を見詰め直し、町の活性化につながります。若い方に働

きかけ、自分たち自身が楽しみながら考えていくことを促したいと思えます。町民皆様の盛り上がりが大変重要だと考えています。

過疎法の期限内に政策や事業を進めては

問

町村が行う事業の70%が地方交付税で措置される過疎

法の期限が、令和3年3月までとなつていきます。この制度がある間にまちづくりの方向を定め、必要な政策や事業を進めていく必要があると思えますが、町長の考えを伺います。

答

梅田町長 全ての過疎自治体

体が加盟している全国過疎連盟において、平成30年度に新たな過疎対策に関する調査研究会を設置し、過疎対策に求められる枠組みの提言を策定することになっていきます。町としては、こうした提言も踏まえつつ、関係機関と連携を図り、必要な要望活動等を行っていきます。また、今後の過疎対策事業債の活用は、各事業や財政状況を見きわめた中で対応していきたいと考えています。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に

一 質 問

産業振興について、町長の認識と今後の対策は

町長

人手不足に直面していることは否めない。将来展望を見出せる取り組みに支援します

問

町長選挙時に配付されたリーフレットについて伺います。①産業の振興について「農業や商工業の振興に挑み、6次産業化や再生可能エネルギーの拡充への支援、女性と高齢者の活躍促進を初め、産業を担う人材育成への支援を目指す」とありますが、現状認識と対策を伺います。

②教育支援について、「小中一貫教育の実現」とは小中学校を統合し、一貫校とすることででしょうか。少子化が進む中、人材育成への投資を望みますが、奨学金の拡充をどの程度まで考えていますか。③当町の知名度は余りにも低く、近隣町村では外国人観光客の増加に目をみはるものがありますが、

その流れを引き寄せることができていると思います。ふきだし公園とともにさらなる宝物探しも必要があると思いますがいかがですか。

④医療、健康づくりと福祉の拡充では「病診連携や介護機能を強化し、民間との協働による町民参加の健康づくりに挑み、町民が支え合う健康長寿の町を目指す」とあります。ひまわりクリニックの無床化に伴い、クリニック2階の活用を議会で要望したところ、地域福祉実践計画の策定を待つて対応するという答えでした。今後の対応と、健康長寿を目指す上で必要な施策を伺います。

⑤人口減少が進むと空き家がふえますが、どう活用するのか。そ

れに伴う市街地の縮小も考えられますので、そこも含めてお答えいただけますか。

⑥行政が縦割り組織と言われて久しいですが、横から串を差し込んでオール京極でまちづくりを行うことが重要です。職員が果敢なチャレンジ精神を発揮し、京極町を次世代へ引き継ぐことができるよう政策の展開を図っていただきたいと考えますが、町長の考えは。

答

梅田町長 ①本町の基幹産業の農業、自然とともにある林業、生活を支える商工業は、町の発展に欠かせない産業であり、維持していくことが求められますが、人手不足に直面していることは否めないと考えています。各産



鈴木敏行 議員

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

ひまわりクリニックきょうごく



業の将来に展望を見出せるような取り組みに支援することはもとより、女性や高齢者の活躍の場を広げ、次代を担う人材の育成にも積極的に取り組むことが必要だと考えています。

② 語学やITに関する教育を一

層充実する必要があると考えており、こうした教育に対応するためには、小中一貫教育も効果的だと考えています。奨学金は、現在は大半が返還型ですが、給付型のあり方を考えていかなければと思っています。

③ 京極町といえればふきだし公園というのはいさなからず浸透していると思いますので、徹底的にこだわりたいと思います。外国人観光客向けの施策も、現在つくっている公園整備の中で検討していきたいと思っています。

④ ひまわりクリニックは4月から体制も変わったことから、十分機能を発揮できるように、支援していかなければと思います。健康長寿は、民間との連携も視野に入れながら、方策を検討していききたいと考えています。

⑤ 状況を把握した上で検討したいと考えます。

⑥ 常に風通しのよい職場づくりを心がけます。

再生可能エネルギー拡充への支援を

問 再生可能エネルギー拡充への支援では、職員に勉強してもらって、自分でできるところは自分でやることを考えていただきたいと思っています。健康長寿について、共生住宅を市街地に集約して建設するなど、福祉計画も含めた都市計画が重要だと思っています。観光については、職員・町民・議員も含めて目指す観光の意思統一をしていただきたいと思っています。

答 梅田町長 再生エネルギーへの支援は、事業者が町内にある再生可能エネルギーの賦存量があるかを調べた上で取り組むべきことだと思っています。いわゆる町の青写真に関しては、今は10年間の計画期間があつた2年あるので、次の計画で検討することになると思います。観光については、まずは町を見詰め直すところが今後のあり方を考える上で大切だと思います。



一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に

一 質 問

町長が直近に予算化したい 政策は何か

町長

まずは補正予算の速やかな執行。予算を伴わないこともできることから取り組みます

問

直近に予算化したい政策、今後のまちづくり、優先的に手当てが必要な課題を伺います。

答

梅田町長 予算化したい政策は、まずは議決いただいた補正予算を速やかに執行していくことです。また、予算を伴わない職員の研修などできることから取り組んでいきたいと思えます。今後のまちづくりは、豊かな自然を大切にしながら、心豊かに安全安心に暮らし続けられるふるさとを築き、次の世代にしっかりと引き継いでいきたい。教育の充実、産業の振興、働く場の確保、誇りに思える文化やスポーツの振興、町民が一体となれるイベントもつくっていききたいと考えます。

ひまわりクリニックと
今後の医療体制

問

ひまわりクリニックの無床化について、まだまだ状況を説明されたと思っていない方が多くいますので、もう一度説明してください。医療シヨートステイの受け入れ先も伺います。先般竹下医師が不在の日に佐呂間から一井先生が駆けつけてくださいましたが、これが複数医師体制でしょうか。私は2人いることだと思つていたのですが、確認します。

答

梅田町長 無床化の経緯についてです。平成24年4月に43床の病院から19床の有床診療所化した際に3年をめどに検証し、



城田 幸俊 議員

問

無床診療所化等を含めて見直すこととしました。有床診療所移行後は、収入増と経費削減を図りましたが、入院患者が5名程度で経営改善は難しい状況でした。平成29年12月から常勤医1名で入院患者等の対応をしていましたが、医師の負担が大きく続けるのは困難なため、本年4月から無床診療所に移行しました。医療シヨートステイの受け入れ先は、ユニットケア慶和園さんや近隣町村の特別養護老人ホームです。

答

複数医師体制について、非常勤の方は補填で来るという事で間違いないですか。
梅田町長 補填だけという事にはなっていないと思います。

ズバリ聞く！ 京極町のいま・これから

旧南京極小学校



で、2名体制で診療されることもあるということですが。

町民の声から

問 ①町民レクリエーションについて否定的意見が多くあ

ります。②町の中心に町民が憩える公園をつくってほしいとの要望があります。③宅地販売をふやしてほしいという要望があります。④旧南京極小学校の取り扱いと今後の有効利用は。

の取り扱いと今後の有効利用は。

答 梅田町長 ①町民が一堂に会し

レクリエーション種目を通して健康増進を図り、さらに相互の親睦と連携を図ることができると考えています。しかし、参加チームの減少も見られることから、皆さんの意見を伺いながら今後の対応を図っていきたくと考えています。②町民の皆様のご意見を伺いながら、必要性を含め検討していくことになると思われます。③宅地の購買動向や空き家・空き地などとのバランスにも配慮しながら、適切に対

処していきたくと考えています。④具体的な計画はありませんが、建物には経年劣化も見られることから、地域の皆様のご意見も聞きながら、方向性を検討していきたくと考えています。

小中学生の学力の現状は

問 小中学生の学力について、現状の評価、学力向上の取

り組み、また中学生の進学先について伺います。

答 高橋教育長 学力の現状は全国的な課題同様、学力・

思考力・判断力・表現力を引き上げていく必要がある段階だと考えています。そのため学力向上は、小学校と中学校が連携した小中連携教育に重点を置き、学習の指導に取り組んでいます。また、本町では児童生徒の教育支援にも充実を図っており、町単独事業で小学校4名、中学校2名の教育支援員を配置しています。義務教育を経ての小中学生の進学先は、後志管内はもとより他管内の公立高校、市立高校高等専門学校となっております。



7月

7日

第45回町民レクリエーション大会（リフレッシュパーク）

8日

令和元年第2回羊蹄山麓環境衛生組合議会臨時会（倶知安町）後藤・村上組合議員

令和元年第2回羊蹄山ろく消防組合議会臨時会（倶知安町）村上・後藤組合議員

10日

第25回後志町村議会議員パークゴルフ大会（町内）

13日

羊蹄山ろく消防組合 第28回羊蹄山ろく連合消防演習（蘭越町）

丸亀市との交流会（倶知安町）

14日

第30回名水の里きょうごくしゃっこいまつり（ふきだし公園）

丸亀市との交流会（町内）

17日

倶知安厚生病院後援会総会（倶知安町）

19日

招魂祭（八幡神社）

議会だより編集委員会

24日～26日

羊蹄山麓町村議会正副議長会正副議長道外研修（沖縄県読谷村・今帰仁村）

30日

産業建設常任委員会

31日

議会だより編集委員会

慶和園ふれあいの夕べ（慶和園）

31日～8月2日

丸亀市行政視察（香川県丸亀市）

6/25

北海道町村議会 議員研修会 場所：札幌コンベンションセンター

議会活動への提言を聴く

6月25日、札幌市において開催された北海道町村議会議員研修会に出席し、議会活動への提言などの講演を聴きました。

【講師紹介】

ありまはるみ
有馬晴海氏

政治評論家。96年より評論家として独立し、テレビ、新聞、雑誌等での政治評論や講演活動を行う。

ささきのぶお
佐々木信夫氏

中央大学名誉教授。議会改革、自治体経営などについて各地の議会や県庁、市役所、経済団体、シンポジウムで精力的に講演。



はじめに、テレビにも出演されている政治評論家の有馬晴海氏が『どうなる？ 今後の日本政治』と題し、現在の安倍政権の状況、7月の選挙に向けた与野党の争点、働き方改革における労働人口の減少、AIの高度利用の必要性など、幅広く講演をされました。

次に、中央大学名誉教授の佐々木信夫氏から『地方は変わるか ～議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか～』と題し、「大きな課題となってきた人口減少と少子高齢化の同時進行の中での地方の取り組みは、経済の伸長を見きわめつつ、思い切った改革を行わざるを得ないだろう！」と講演いただき、2氏の講演を受け日本社会全体が曲がり角に来ていることを実感した研修会となりました。



議会活動日誌

議会議員は定例議会や臨時議会のほか、各種研修や町内の行事などに参加しています。



出席者はこのように表記しています 議長 副議長 正副議長 全員・議員多数

5月

20日

後志町村議会議長会臨時総会（倶知安町）

24日

共楽クラブ懇親会（公民館）

25日

京極中学校体育大会

27日

後志総合開発期成会定期総会（倶知安町）
後志町村女性議員協議会臨時総会（倶知安町）中村議員

28日

後志広域連合議会全員協議会（倶知安町）
令和元年第1回後志広域連合議会臨時会（倶知安町）

29日

令和元年第1回羊蹄山ろく消防組合議会臨時会（倶知安町）村上・後藤組合議員
令和元年第1回羊蹄山麓環境衛生組合議会臨時会（倶知安町）後藤・村上組合議員

31日

倶知安厚生病院視察（倶知安町）
京極町観光協会代議員会（総会）（公民館）

6月

3日

京極町地域安全協会役員会・総会（公民館）

4日

第45回町民レクリエーション大会合同会議（公民館）

7日

総務・産業建設合同常任委員会
議会運営委員会

9日

京極小学校大運動会

11日

後志町村議会議長会臨時総会（札幌市）
北海道町村議会議長会第70回定期総会（札幌市）
羊蹄山麓町村議会正副議長会臨時総会（札幌市）

12日

北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会総会（小樽市）
北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会総会（小樽市）
後志総合開発期成会后志段階要望運動（小樽市・倶知安町）

14日

令和元年第2回定例会 開会

16日

村田北海道議会議長就任を祝う会（札幌市）

18日

令和元年第2回定例会 再開・同日閉会

20日

羊蹄山（京極コース）山開き式（ふきだし公園）

23日

村田憲俊北海道議会議長就任祝賀会（ニセコ町）

24日

京極支署・消防団消防演習（多目的広場）

25日

北海道町村議会議員研修会（札幌市）
→右ページの記事をこらんください

26日

後志総合開発期成会北海道段階要望運動（札幌市）

27日

伊達参議院議長表敬訪問（東京都）
後志総合開発期成会懇談会（東京都）

28日

後志総合開発期成会中央段階要望運動（東京都）

30日

第64回倶知安駐屯地創立記念行事（倶知安町）



わかるかな？

ぎかい クイズ

答えは、表紙、P.4を読んでね！

Q 1

京極町の親子都市はどこ？

Q 2

プレミアム付商品券事業とはどんな事業？

Q 3

公営住宅は何戸建てて、いつ完成するの？

👉👈 ゆうくとすいちちゃんを探してみてね！

表紙写真を募集しています！

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

テーマは「京極大好き！」

京極の美しい風景、みなさんの笑顔、季節を感じる写真など、なんでも結構です。

詳しくは議会事務局（42-2111）まで。ご応募お待ちしております。



議会だより編集委員会	
委員長	鈴木 敏行
副委員長	中村 厚子
委員	大野 利明
委員	城田 幸俊

（中村 厚子）

目まぐるしい時代の変化を感じる今日この頃です。日常生活の中で、当たり前だと考えていたことが当たり前ではなくなる。常識と思いついていたことがそうではなくなる。少々、躊躇いたしますが柔軟な考え方が求められる時代になつていくのを感じます。議会も時代錯誤に陥らないよう努力していきたいと考えます。

情報化・国際化が進みさまざまな場面での多様化を認めながら、時代は変わつても人と人のつながりは大切にしていきたいと思つています。



編集後記

朝晩も涼しくなり、過ごしやすい季節になりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年、5月1日から「令和」の新しい時代が幕明けし、選挙により議会構成も新たなスタートをいたしました。議会だより編集委員も変わり、改めて4年間よろしくお願ひいたします。

議会を傍聴しませんか？

京極町議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。庁舎2階の議会事務局で受け付けを行っていますので、ぜひ傍聴にお越しください。

次回の定例会は
9月中旬開会予定です